

オーストラリア スタディ・ツアー



学校教育課 ☎66♦1165

市内の中学2年生14人が、10月18日から、8泊9日の日程でオーストラリアへのスタディ・ツアーを実施しました。

到着前の生徒たちは、これから始まる生活への期待と不安で胸をふくらませていました。

感動！感激！感謝！

「Hi, Yu」明るく元気な声の響くブラックバーン校。日本に興味があり、日本語を話す生徒も。英語が通じない時も、ジェスチャーと笑顔で心が通じ、たくさんの友達ができました。不安はいつしか自信へと変わりました。ファミリー

のナトル一家は家族のように温かく私を受け入れ、充実した9日間でした。こんなチャンスに恵まれたことに心から感謝しています。

(西浦中 飯島由衣)

Thank you for wonderful experience!

ブラックバーン校は、町中でありながらも緑あふれ広々とした学校でした。生徒たちはとても愉快で明るく話しかけてくれ、すぐに打ち解けました。今でもメールを続けています。「ラクロス」というスポーツを初めて体験しました。日本語の授業もあり、日本への関心の高さに驚きました。今回の体験は国際交流の第一歩となりました。将来は世界を視野に入れた職業に就きたいと強く思いました。

(形原中 林 大悟)

Thank you for everything!!

一番印象に残った事は、ブラックバーン校でのことです。知らない人でも声をかけてくれたり、日本語で話しかけてくれました。困った時でも笑顔で答えてくれました。スポーツの時は、ジェスチャーを使いました。とても良い

経験になりました。今度オーストラリアに行くときはもっと勉強して行きたいと思います。

(西浦中 尾崎 康太)

THANK YOU, AUSTRALIA

僕たちは2日間ブラックバーン校へ訪問し、英語で授業を受けました。生徒はとても優しい人ばかりで、気軽に話してくれました。時には「おはよう」と日本語で挨拶もしてくれました。こんなところが本当にうれしいことでした。オーストラリアの人の明るく、心温かい人柄に何度も助けられました。この海外派遣を通して、英語関係の職に就きたいと思いました。

(大塚中 加藤 遥平)

ありがとう、ファミリー！

あつという間だった9日間で、忘れられないのがファミリーと過ごした5日間です。かたくなっていた私に気軽に話しかけ、ギャグを言ったりしてくれました。そんなファミリーに囲まれて積極的に会話をすることができました。ファミリーの思いやりでホームステイがすごく楽しくなりました。この貴重な経験に感謝し、思いやりを

もって人に接しようと思います。

(三谷中 小田紗矢香)

Let's talk English!

僕のステイ先の子は18歳でした。彼は日本語コースで、日本語で話しかけてくれました。サーフィンに行きファミリーが集まるときに、僕は少しでも多く話をしようとして、たくさん話しかけました。その度にファミリーは、僕をつたない英語を、真剣に聞いてくれました。またオーストラリアに行きたいです。そして今度はずっとたくさん、英語を使いたいです。

(塩津中 宮武仁志)

My second home

私が一番印象に残ったことは、ホストファミリーとの生活です。初めての海外で英語が通じるかすごく心配でした。しかし、積極的に話しかけてくれ、日本語で会話をしたときもあり、もつといういろいろな話があったと思うようになりました。国が違えば環境も違います。でも、心が通じ合うことができれば、何でも乗り越えられることが今回のツアーでわかりました。

(蒲郡中 壁谷 瑞羽)